

科目ナンバー	SEM-4-005-ky			科目名	卒業研究（大嶋）		
教員名	大嶋 果織			開講年度学期	2020年度 前期～後期	単位数	4
概要	課題演習Ⅰ、Ⅱを踏まえ、共生社会の実現にむけての諸課題の中から自分でテーマを設定し、調査研究を進め、論文にまとめる。また、課題解決への道筋を具体的に考えられるよう、引きつぎフィールドワークも行う。						
到達目標	・人権や共生の視点から社会を分析する力をつける。 ・共生社会の実現にむけて、過去の取り組みや現在の取り組みについて調べ、課題を明確にする力をつける。 ・テーマ設定、資料の探し方読み方を始め、調査・研究の方法等を身につける。 ・研究成果を整理し、文章化し、論文にまとめる力をつける。 ・共生社会の具体的ビジョンや実現に向けての道筋を言葉化することにより、共生社会の実現に向けて希望をもつようになる。						
「共愛12の力」との対応							
識見	自律する力			コミュニケーション力		問題に対応する力	
共生のための知識		自己を理解する力		伝え合う力		分析し、思考する力	○
共生のための態度		自己を抑制する力		協働する力		構想し、実行する力	○
グローバル・マインド	○	主体性	○	関係を構築する力	○	実践的スキル	○
教授法及び課題のフィードバック方法	ゼミの時間に行う発表と討論、ならびに論文執筆のための個別指導やグループ指導によって進める。テーマによってはフィールドワークを指導する。						
アクティブラーニング	○	サービスラーニング			課題解決型学修		
受講条件 前提科目	担当者の課題演習Ⅰ・Ⅱを履修した者。						
アセスメントポリシー及び評価方法	論文70%、発表と討議参加および論文執筆に向けての取り組み30%						
教材	個別に提示する。						
参考図書	『大学生のための「読む・書く・プレゼン・ディベート」の方法』松本茂／河野哲也 玉川大学出版部 2007年、『新版 論文の教室レポートから卒論まで』戸田山和久 NHK出版 2012年、『21世紀の人権』江原由美子監修、神奈川人権センター編集、日本評論社 2011年、『地球市民の人権教育 15歳からのレスポラン』肥下彰男、阿久澤麻理子編著 解放出版社 2015年、その他、それぞれのテーマに関しては個別に提示する。						
内容・スケジュール	・スケジュール確認 ・課題演習期末課題の改訂作業を通して、論文執筆作業への理解を深める。 ・研究を進める上での諸注意（調査研究の方法、先行研究や資料の探し方、市民住民運動の資料活用について、インターネット利用の際の注意、フィールドワークの可能性と実施する際の諸注意など） ・収集資料報告と研究計画報告ならびに討論 ・テーマと目次立て、概要の発表（前期末） ・論文中間発表会（9月合宿） ・個別指導・論文提出（12月1日） ・論文修正と再提出（1月6日） ・論文発表会（1月、ゼミ内発表会、コース内発表会） ・論文集用原稿提出（1月末） 授業外学習時間 ・論文執筆120時間						

Number	SEM-4-005-ky	Subject	Graduation Thesis			
Name	大嶋 果織 (Oshima Kaori)	Year and Semester	Full-year for 2020	Credits	4	
	Students choose his/her own theme on human rights issues, issues of inclusive society or justice					

Course outline	O	and peace issues individually, and complete their graduation theses.
-------------------	---	--